

JEE 上の ADOBE® EXPERIENCE MANAGER FORMS のインストールおよびデプロイ (JBOSS® 版)

法律上の注意

法律上の注意については、http://help.adobe.com/ja_JP/legalnotices/index.html を参照してください。

目次

第 1 章：AEM Forms モジュールのインストール

第 2 章：デプロイメント用の JEE 上の AEM forms の設定

第 3 章：JEE 上の AEM forms の JBoss へのデプロイ

3.1 JEE 上の AEM forms モジュールのデプロイについて	3
3.2 デプロイ可能なコンポーネントの概要	3
3.3 JBoss Application Server へのデプロイ	3

第 4 章：デプロイメント後のタスク

第 1 章: AEM Forms モジュールのインストール

第 2 章：デプロイメント用の JEE 上の AEM forms の設定

第3章：JEE 上の AEM forms の JBoss へのデプロイ

この章では、JEE 上の AEM forms を JBoss Application Server にデプロイする方法について説明します。

3.1 JEE 上の AEM forms モジュールのデプロイについて

JEE 上の AEM forms をデプロイする前に、次のタスクが完了していることを確認してください。

- 必要なソフトウェアとファイルがインストールしてあり、作業を行うディレクトリの場所を確認している。このタスクが完了していない場合は、『[JEE 上の AEM forms のインストールの準備 \(シングルサーバー\)](#)』または『[JEE 上の AEM forms のインストールの準備 \(サーバークラスター\)](#)』を適宜参照してください。
- Configuration Manager を実行し、システムおよびアプリケーションサーバーの要件に従って JEE 上の AEM forms モジュールを設定およびアセンブリしている。デプロイメントにモジュールを追加するには、Configuration Manager を実行して変更を行い、更新した EAR ファイルを再デプロイします。

JEE 上の AEM forms を初めてデプロイする場合は、製品をデプロイした後に、Configuration Manager を使用してデータベースを初期化します。

外部 Web サーバーを使用している場合は、Web サーバーのマニュアルを参照して、アプリケーションサーバーへのアクセスに必要な設定について確認してください。

3.2 デプロイ可能なコンポーネントの概要

デプロイメントプロセス中に、次のコンポーネントをデプロイする必要があります。

- adobe-lifecycle-native-jboss-[OS].ear
- adobe-lifecycle-jboss.ear
- adobe-workspace-client.ear (forms ワークフローのみ)

Configuration Manager を使用して JEE 上の AEM forms を設定 (必須) すると、これらのファイルは [aem_forms root]/configurationManager/export/ ディレクトリに置かれます。

3.3 JBoss Application Server へのデプロイ

JEE 上の AEM forms モジュールを JBoss Application Server にデプロイするには、デプロイ可能なコンポーネントをデプロイディレクトリにコピーします。ファイルをディレクトリにコピーする際には、JBoss Application Server は実行中でも停止中でも構いません。ファイルをコピーしたら、サーバーを起動または再起動して、サービスが正常に開始されたことを確認してください。

JEE での AEM forms モジュールを JBoss Application Server にデプロイするには：

- 次のファイルを、[aem_forms root]/configurationManager/export ディレクトリから次のディレクトリ [appserver root]/standalone/deployments/ (手動設定の JBoss の場合) にコピーします。
 - adobe-lifecycle-native-jboss-[OS].ear
 - adobe-lifecycle-jboss.ear
 - adobe-workspace-client.ear (forms ワークフローのみ)

必要に応じて、Forms Standard、Output、Mobile Forms、および Assembler IVS EAR もデプロイできます。

Correspondence Management の発行インスタンスを作成するには、adobe-lifecycle-cq-publish.ear をデプロイします。adobe-lifecycle-cq-publish.ear が別のサーバーにデプロイされていることを確認します。JEE サーバー上の AEM forms には adobe-lifecycle-cq-publish.ear をデプロイしないでください。発行インスタンスの設定については、発行インスタンスの設定を参照してください。

注意：データソース定義ファイルを、データベースサーバーとデータベースを指すように変更する必要があります。詳しくは、「付録 - データソースの手動設定」を参照してください。

重要：IVS EAR ファイルを実稼働環境にデプロイすることは、お勧めしません。

第4章：デプロイメント後のタスク